

「総合技術研究所 中期事業計画（第2期）」の実施状況について

1 要旨・目的

令和3年度から令和7年度の5年計画である「総合技術研究所中期事業計画（第2期）」（以下「第2期計画」という。）の令和6年度の実施状況を取りまとめたので報告する。

2 現状・背景

第2期計画では、基本方針を①ニーズ起点、②総合力の発揮、③シンクタンクの機能の発揮、④専門技術＋デジタル技術活用と定め、高度化・複雑化・多様化する事業者等の技術的課題に対して、従来からの専門技術の進化に加え、デジタル技術を活用し、的確で効果的なソリューション提供を行うことを目指す。

3 概要

(1) 対象者

県内中小企業、農林水産事業者、県事業局等

(2) 実施内容

取組方針	主な実施内容
顧客とのコミュニケーション強化	・目的を絞った営業活動の実施 ・ニーズ分析検討会やアンケート調査結果の分析によるニーズの深掘り
顧客起点での課題解決に向けた、迅速かつ満足度の高い支援の充実	・共同研究、受託研究、技術的課題解決支援事業による「ソリューション提案型」支援の推進
課題解決を支える技術基盤等の強化	・デジタル技術活用のための技術支援体制の強化 ・顧客ニーズの高い設備機器の計画的整備

【目標達成状況】

指 標				R3～R7 目 標（年平均）	R6 実績	状況	（参考） R3～R6 平均	
アウトプット	ニーズ把握	① 事業者等訪問数		1,200 件	1,348 件	達成	1,306	件
		② 技術相談件数		11,500 件	12,141 件	達成	11,996	件
		③ 利用者満足度		4 以上	4.4 /5段階中	達成	4.4	/5段階中
	課題解決	④ ソリューション提供※	件数	280 件	325 件	達成	371	件
			金額	117,000 千円	123,583 千円	達成	156,554	千円
		⑤ 農林水産事業者技術指導件数		700 件	831 件	達成	798	件
		⑥ 事業者等・事業局人材育成者数		4,700 人	5,904 人	達成	5,846	人
		⑦ 設備利用	件数	11,500 件	12,814 件	達成	12,280	件
			（うち職員操作 支援件数）	—	2,514 件	—	2,473	件
			金額	28,000 千円	37,247 千円	達成	33,969	千円
アウトカム	—	⑧ 事業局課題対応件数		200 件	268 件	達成	303	件
		⑨ 知財等実施件数		30 件	43 件	達成	38	件
		⑩ 製品化件数		15 件	51 件	達成	31	件
		⑪ 支援効果額		9,100 千円	13,669 千円／者	達成	8,642	千円／者

※ ソリューション提供：共同研究・受託研究・技術的課題解決支援事業を対象とした技術支援

(3) **スケジュール**

令和3年度～令和7年度（5年間）

(4) **予算（単県）**

387,552 千円

(5) **事業効果・検証結果**

- 第2期計画に基づく技術支援等を着実に実施した結果、11指標13項目の全ての項目について、令和6年度単年度の目標を達成しており、順調に進んでいる。
- 各センターを利用した事業者等を実施したアンケート調査結果では、研究員の対応の良さ、事業者等の知見の獲得・蓄積への貢献、短納期での試験への対応など、丁寧で迅速なサービスが評価され、高い満足度を得ている（令和7年度調査結果の概要は別紙のとおり）。
- アンケート調査で把握した支援効果額は、利益・売上増やコスト削減効果として1者当たり13,669千円となった。

(6) **今後の対応**

引き続き第2期計画に基づき、事業者等の付加価値向上を図るために、事業者等からの技術相談に対応し、的確なソリューションの提供や製品化等の支援を行う。また、利便性向上など利用者の要望に沿った改善や、デジタル技術活用のための技術支援に取り組む。

4 その他（関連情報等）

- 総合技術研究所中期事業計画（第2期）
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hiroshima-soken/jigyokeikaku.html>
 - 利用者アンケート調査結果（令和6年度調査結果）
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hiroshima-soken/survey-r06.html>
- ※ 令和7年度調査結果は、9月中に総合技術研究所ホームページで公開予定。

令和7年度総合技術研究所利用者アンケート調査結果の概要
(令和6年度利用分)

1 要 旨

総合技術研究所の各種サービス（共同研究、受託研究、技術的課題解決支援事業、設備利用、依頼試験）を令和6年度に利用した事業者等に対するアンケート調査結果の概要は次のとおり。

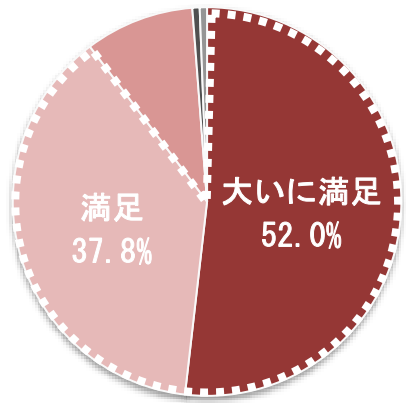
2 アンケート調査の概要

(1) 回答数

331 者（回答率 49.5%）

(2) 満足度

満足度	回答者数	割合
5：大いに満足	172	52.0%
4：満足	125	37.8%
3：普通	30	9.1%
2：不満	2	0.6%
1：大いに不満	2	0.6%
未回答	0	0%
計	331	100%



満足度の5段階評価の平均値
4.4

大いに満足
満足 ⇒ **89.8%**

(3) 主な満足（不満）の理由（複数回答可）

満足な点	件数	不満な点	件数
職員の対応が丁寧	141	設備の老朽化	1
目的の知見が得られた	83	結果が期待未満	1
料金が安い	66	回答時の選択ミス※	2
迅速な対応	58		

※不満と回答した者のうち、2者は回答の選択ミス（回答者に確認済み）

(4) 1 者当たりの支援効果額

13,669 千円（利益・売上の増加、コストの削減、損失回避、将来メリット等）

(5) 強化を希望する項目

（研 究 員）幅広い知見（技術の広さ）、技術力（技術の深さ） など

3 まとめ

職員の幅広い知見に基づく改善提案や、迅速な対応により「職員の対応が丁寧である」、「目的の知見が得られた」という満足した意見を利用者から多くいただいた。一方で、機器の更新や新たな設備の導入、新規技術分野の強化などへの要望が寄せられていることから、これらの技術支援基盤を強化することで、更なる利用満足度の向上を図っていく。